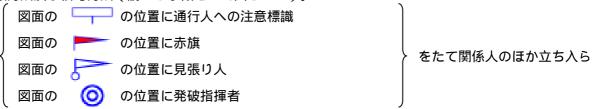
危険予防の方法

1)保安物件の状況(消費場所から300m以内の該当物件を で囲むこと)。 但し、300m以内に該当物件がないときは「 mなし、と記入ください

므	U ₂ 300	m以内に該目物件がないとさは、 mなし」と記入ください。	
			最寄りの保安物件までの距離
	_ _	国宝建造物、市街地の家屋(100 戸以上)、学校、保育所、病院、劇場、 競技場、社寺、教会	
	第2種	村落の家屋(10 戸~100 戸)、公園	
	第3種	家屋(10 戸以下)、鉄道、軌道、汽船の常航路又はけい留所、石油タンク、 ガスタンク、発電所、変電所、工場	
	第4種	火工所(消費場所内の見通しのきく安全な場所に設ける)。	
	備	交通量(1日当たり) バス 台、二・三輪車 台、四輪車 台 通行人 人、学童 人	
	考	交通制限の有無 有 時~ 時まで 無	

2) 見張方法及び信号方法(講じる手段を で囲むこと)。



とを確認したうえ実施する。

3)飛石(防音)に有効な防止方法(講じる措置ア、イ、ウを 印で囲むこと)。

に有効な防護措置を講ずる。

- ウ 別添図面(平面、断面図)の仕様により飛石に有効な()防止柵等を設け飛石を防ぐ。
- 4)火薬庫設置の有無
- 5)運搬の概要
- 6)取扱所の有無
- 7)火工所の概要 別紙のとおり
- 8)制限地区の有無